

□ 要請番号 (JL60919B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	H131 栄養士		個別	新規	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2 ・ 2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・家族省

2) 配属機関名 (日本語)

国立栄養センター

3) 任地 (エスチュエール州リーブルビル市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国立栄養センターは、1995年に設立された国民の栄養に関する事業および研究の実施機関であり、栄養失調や低栄養、生活習慣病等の予防に関する食育、栄養改善のための啓発活動を実施する他、栄養士等の人材育成や、国民の栄養に関する調査・統計などを行っている。同センターの事業予算は、国家予算に加えWHOやUNICEF等の国際機関の支援が充てられている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ガボンの5歳未満の乳幼児死亡率は6.5%(2012年UNICEF)と高く、また、栄養不良率は16.5%(ガボン保健・人口調査2012年)であり、乳幼児の栄養改善は国の重要課題の1つとなっている。その一方、栄養過剰による肥満や生活習慣病(国民の肥満率18.0%WHO2013年)も増加しており、国が取り組むべき新たな課題となっている。センターではWHOやUNICEF等国際機関の支援により栄養士の人材育成研修を実施した経験はあるが、研修後のフォローアップや、地域住民への啓発活動などは十分に行われていない。このような状況において、同センターの業務の活性化と質の向上を目的としたJICAボランティアによる技術支援が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先センター長の指示の下、同僚と協力した以下の活動が期待されている。

1. 学校の生徒や地域住民を対象とした食育や栄養改善のための活動を計画し、実施を支援する。
2. 上記、食育や栄養改善のための活動に係る資料や教材作成について支援を行う。
3. 母子保健センターや地域の診療所を巡回し、妊産婦や患者等を対象とした栄養指導を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

多目的室・学習室・調理室等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先スタッフ(30～50代):センター長(1名)・栄養士(2名)・看護師(1名)・公衆衛生担当(1名)・乳幼児保育担当(1名)・統計担当(1名)・事務員(2名) ※変動あり
他、地域住民

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（栄養士）

[学歴]：（専門学校卒） 備考：分野専門知識は必須

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：実践力が必要となるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は、同性JICAボランティアと同居の可能性があります。